



NPO 法人流山市国際交流協会

NIFANEWS

発行：NPO 法人流山市国際交流協会
〒270-0111 流山市江戸川台東1-4 3F
国際理解サポートセンター内
☎：04-7128-6007
Email:nifa-support@bz04.plala.or.jp
http:nifa-home.sakura.ne.jp/

歌と舞に乗って世界一周 ～文化交流事業部員の声～

仲間と歌いながら、その曲を歌い継いできた人への思いを募らせます ～ワールドハーモニーに寄せて～

平 恵理子さん（文化交流事業部）

♪Dahil sa iyo…、今日も、とある国の言葉がピアノの音色に乗って音楽室に溢れます。ワールドハーモニーの歌声です。日本語に直さず外国語のままに、その曲の響きを楽しんでいます。月2回のレッスンは、声を出しやすくするようにとピアノの西澤佳恵子先生の生伴奏によるラジオ体操第1からスタート。気持ちよく身体もほぐれたところで、熊谷道子先生（昨年2月に熊坂牧子先生より講師のバトンを受け継がれました）から丁寧な発声練習の手ほどきを受けて、実際に楽曲を歌い始めます。各言語の発音は、経験ある方に頼り、お互いに学び合っています。どのようにしたら他国の言語を活かした歌声を上手に出せるか、これは私たちの課題の中の一つかも知れません。私は、自分で思い描くようにはなかなか歌えず、力が入ってしまうことなどはしょっちゅうあります。だからこそ、思うように歌えたときの気分は最高です。ステージに立って、自分でも楽しめることに加え、歌声を聞いて下さる方にも喜ばれるなんて嬉しい限りです。何より、ステージごとに、ともに歌うメンバーの方々との絆も深まる気がいたします。これからもレッスンを大切に、先生方やメンバーの皆さんに感謝の心を持ち、時に飛び出す海の向こうの曲にまつわる体験談も楽しみながら豊かな時間を紡いでいきたいと思えます。



ワールドハーモニーの練習風景
(平さんは左2人目)

【木蘭扇 受講生インタビュー】

阿部幾久子さんに聞きました（2018年1月15日 生涯学習センターにて）

この春、木蘭扇に心を寄せて一緒にレッスンしてみませんか。

- Q. 今日練習していた舞踊は何という舞ですか？
A. 「青花瓷（チンファーチー）という名の舞踊です。
Q. 木蘭扇をどのくらい続けてやっていますか？
A. 10年くらいになります。
Q. 他の方も皆さん長くやっついていらっしゃいますか？
A. はい、皆さんいい方、先生に惹かれていつの間にか長くなりました。
Q. 木蘭扇を始められたきっかけは何ですか？
A. 一つ生活の中で区切りが付き、何か始めたいと思っていた時に友人から誘われました。
Q. 木蘭扇に惹かれる魅力のようなものはありますか？
A. 最初のころは「知る」、「覚える」で大変でした。最近になりようやく「楽しい」という感じが持てるようになりました。衣装、扇の華やかさをまもって舞うなど日常では味わえないものです。
Q. 家で練習することはありますか？
A. 先ずありません。舞台前のちょっとしたおさらいや、つい楽しくて体が動くことはありますが。

- Q. 太極拳など動きはゆっくりしていても、相当ハードに見えます。汗も沢山かいているようですが、木蘭扇はどうですか？
A. そんなにハードではありません。私は健康によいから、というよりも楽しいから、という方が強いです。
Q. 公演のときに見ている人からはどのような評判を聞かれますか？
A. あまりご覧になる機会が少ないせいか、珍しがられることは多いです。（衣装が）「きれい」とは言われます。

（練習見学記：鏡のある部屋では朱昉さんの指導で、手の上げ方、角度、返し方、足の運びのタイミングなど細部に至るまで練習をしていました。最初の曲は2017FESTAでも演じたもの、それに初めての曲「彩蝶紛飛」（サイデェフンフェ）を練習しました。）

（注）1. 「青花瓷」の意味

“青花瓷”とは藍色に染め付けた陶磁器のことです。『素焼きに写された青い模様、筆は色濃くやがて薄く、花瓶に描き出された牡丹は初めて化粧をした君のよう。ゆっくりと白檀の香りが窓をすり抜け、余韻に筆を止め君を思う。』

美しい陶磁器の様に永遠の愛、普遍の美を歌っているとっても素敵な曲です。

2. 木蘭扇の新演舞「彩蝶紛飛」が始まります。

“彩蝶紛飛”とは美しいアゲハ蝶の舞のことです。蝶のような、さらに大きな扇を用います。

リュウホァンとサラブライトマンが歌っている美しい曲です。英題は‘YOU&ME’、『私とあなた、繋がる心、同じ地球に住み夢に向かい千里の道を進む、永遠に一つの家族…。』という内容です。



青花瓷の練習風景
(左2人目は阿部さん)

【文化交流事業部について】部長の花家真理さんに聞きました

Q. 文化交流事業部ができた時、ワールドハーモニー（ワーハモ）と木蘭扇を始めたいきさつ、現在のそれぞれの部員数

A. もともとは文化部という名称で、10年ほど料理講習会やイベントで屋台を出店するなどの活動していました。けれども事情があり4年ほど活動を休止し、文化部そのものの存続が危ぶまれる中、新たな活動を模索しなければなりません。そしてこの状況を危惧された顧問の佐藤元子さんが流山でご活躍の熊坂牧子先生と、当時日本語講座の受講者であった朱昉さんに声をかけて下さり、「ワールドハーモニー」と「木蘭扇」の2つの講座を始めることになったのです。部員数はワールドハーモニー20名、木蘭扇8名です。

Q. 文化交流事業部が目指すもの

A. 文化交流には生活様式、学問など様々な分野があります。其中で当事業部は、主に芸術的要素から異文化を理解し、国際理解と平和の一助となることを目的としています。木蘭扇もワーハモも長年の活動を通して定着しています。

Q. これからの文化交流事業部

A. 当事業部は、講座の単なる受講者と講師の関係ではなく、お互いの意思疎通を図りながら、自分たちで発展させていこうという仲間の集りです。意思をもち、尊重されることは希望のある人生に不可欠です。その様な可能性があれば歌やダンスが得手ではない人でも文化交流事業部が広がる窓口になるでしょう。是非多くの方に参加していただければと願います。今後はさらにNIFAらしい国際色のある企画を展開していきたいと思っています。



文化交流事業部員とゲスト出演者 (FASTA2017にて)

【木蘭扇について】

Q. そもそも「木蘭扇」とはどのような舞？

A. 木蘭扇は、太極拳に舞踊の優美な動きを取り入れて、気功、武術、体操、舞台芸術の要素を融合させた斬新な舞踊のひとつです。拳のみの狭義の「木蘭拳」、扇を使う「木蘭扇」、剣を使う「木蘭剣」の3つがあります。木蘭（ムーラン）とは男装して従軍し、武功をたてたといわれ、いまでも中国の人々に愛されている民間伝説のヒロインのこと。木蘭の凛々しい美しさと勇壮な精神にあやかっって武術に命名しているとも言われています。

Q. 初めてでも皆と一緒にできる？入会に必要なものは？

A. 扇の開き方や基本となる動作を必ず毎回練習するので初めての方でも無理なく参加できます。自習は必要なく、レッスンに毎回来ていただく事が重要です。体が動けば、どなたでもスタートできます。

木蘭扇演舞
「青花瓷」

【ワールドハーモニーについて】

Q. レパートリーは何曲くらい、選曲はどのように決める？

A. 70曲位、メンバーのリクエストや先生のチョイスなどです。

Q. ワーハモで歌ってきた原語又は外国の数はどのくらい？

A. ドイツ、英語、中国、スペイン、イタリア、ロシア、韓国、フィリピン、メキシコ、フランス、エジプト、インドネシア等12か国ぐらいです。

Q. 知らない言語はどのように習得する？

A. メンバーでも知らない言語は、本国の方から指導を受けネイティブな発音を学んでいます。

Q. 1年でどのくらいの曲を練習する？

A. 8曲位練習しますが、過去にレッスンした曲を復習しテーマに沿ってカリキュラムが編成されています。

Q. 入会するのに何か必要な条件はある？

A. 特に条件はありません。基礎から繰り返し練習するので声が出れば、どなたでもスタートできます。語学は苦手な方もリズムがつくと鼻歌のように外国語が口ずさめます。

ぜひ皆様見学にお越しください、お待ちしております。
木蘭扇：第1及び第3火曜日
ワールドハーモニー：第2及び第4金曜日
いずれも9:30~11:00 生涯学習センター（エルズ）

会員の声

流山SGGクラブのご紹介

當麻多才治さん（外国語支援事業部サポートメンバー）

「NIFA NEWS」205号（2017年9月1日発行）で村上達夫さんが、流山には英語による観光案内がないのでは、とお書きになっているのを拝読しました。実は「流山SGGクラブ」（会長伊藤明）という組織があり、外国からのお客様を英語やスペイン語で流山や都内でボランティアガイドとして支援しています。

この会は、平成21年に日本政府観光局（Japan National Tourist Organization）に善意通訳ガイド（Goodwill Guide）として登録をされたメンバーが任意団体として発足させました。最近では組織も整備され、活動も活発になっています。この一年ではイスラエル、ドミニカ、ポーランド、ペルーなど10数か国の方々を市内に案内いたしました。

海外からの依頼は主にJNTOの全国SGGリストで紹介されている当クラブの頁を見て寄せられます。全国には約90、千葉県では成田と柏に同じ目的の団体があります。

ガイドに先だって、Tour Policy（ガイド時の費用負担、互いの責任の範囲、緊急の連絡先など）を理解いただき、双方が安心して楽しめるよう心がけております。外国からのお客様の言葉の壁を少しでも低くして滞在を楽しんでもらうのが目的ですので通訳案内士の資格は求められてはいません。私たちも地元の魅力を再発見しながら、世界の方々と触れ合える良い機会になっています。

現在の会員は10名（その半数はNIFAの会員です）不足のため、人数、対応原語の面で要望に応えきれないこともあります。既に市内のモデル観光コースをいくつか用意していますが、これからは観光協会他の団体とも連携を強めながら流山の魅力を楽しんでもらえるよう発信していきたいと考えています。

ご興味をお持ちの方はHP <http://nagareyamasgg.org/> を一度検索してみてください。またお気軽に質問をお寄せ下さい。

連絡先：事務局 當麻 toma6002@i.softbank.jp 080-5184-9903



インタビュー NIFAの人

マリアンジェルス 浅野さん(スペイン語講師)

Q. NIFAで教えて下さるようになったいきさつは？

A. 4,5年前の6月頃、KIRA(柏市国際交流協会)で初めてレッスンを受け持っていた時に、NIFAでも開講したいという依頼があり、引き受けました。2つ同時です。

Q. 最初から「入門」と「初級」の講座でしたか？

A. いいえ最初はスペイン語ができる方向けの講座が1つでした。その後「入門」クラスを開講したのですが、何年か続けているうちにレベルが上がっています。

Q. 日本ではスペイン語は義務教育ではないし、話す人も少ないようです。そのような言語を学ぼうとされるのはどのような動機からでしょうか。

A. 旅行目的が多いようです。どの外国語も話せないままスペインに行った。けれど現地の人と通じることができなくて面白くなかった。今度はスペイン語を学んでもう一度行って楽しみたい、という方は結構います。スペインはホテルや観光地は英語も大丈夫ですが、普通の人はあまりしゃべりません。中南米に行っても同じ(状況)です。そしてどの国も遠いので、長期に旅する方が多く、そうなると言葉が通じないのは不便です。

Q. スペイン語の特徴をいくつか教えてください。

A. 文法が割合しっかりしています。英語はモダンですが、ラテン語系の言葉は古くからのこだわりがあります。

例えば名詞は全て性があり、テーブルは女性形、本は男性形です。動詞も活用形が決まっているので、ちゃんと覚えれば訳すのもちゃんとできます。日本語だと『友達と飲んできた』と言っても誰と飲んだかわかりません。スペイン語では必ず女性形‘アミーガ’か男性形‘アミーゴ’なのではっきり言うとパレます。

Q. 正直に言うと困ることがあるかも知れませんか。

A. そう。そしてスペインには800年の間、アラブの人が住んでいました。なのでアラブの言葉もスペイン語の中に入ってい

ます。

Q. 活用も沢山あると聞きました。

A. 例えば過去形にも4種類あって、「単純過去」「点過去」「線過去」「現在完了」を使い分けています。

Q. 日本語にはない時間の感覚を理解するのが大変そう。

A. でも憶えてしまえば聞いた時に、短い文で「今日食べた」のか「昨日食べた」のか理解できます。

Q. スペインの暮らしぶりはいかがですか？

A. ユーロになって物価は高くなりました。でも食べ物など生活に必要なものは高くありません。だからお金をかけない暮らし方はできます。今は失業者が多いです。国の借金は多いのに年金は沢山もらえます。消費税は4%から20%まで細かく税率が決まっています。同じユーロ圏でも、国により物価の違いがあり、スペインは安い。だからドイツやオランダの人はスペインで沢山買い物します。

Q. 日本とスペインの違いや共通点はありますか？

A. 挨拶で日本は頭を下げますが、スペインは反対に頭を上げます。車も右左反対です。スペインも日本ほどではありませんが、朝晩は通勤ラッシュがあり、昼も食事をとりに家に帰るので結構混雑します。スペインも日本も魚や米を食べるところは同じです。スペインの南部は千葉県と同じ、ピーナツや枇杷(ピワ)、魚が取れます。

Q. スペインの魅力を教えてください。

A. スペインは世界の人が観光で訪れたい国の上位です。日本人は皆同じパターンで行きますが、少し言葉ができれば、ちょっと外れた町をお勧めします。みんな親切です。(旅行者が多いせいか) スペイン語でなくても他の国の言葉でもちゃんと話さなくても通じるようです。

中には一人で2か月とか滞在したり、3か月もかけて巡礼の道とか行かれた生徒さんもいるようです。

♥ 楽しいお話しありがとうございました。

(2018年1月26日

インタビュー西山勝)



マリアンジェルス浅野さんからのメッセージ : Las relaciones entre España y Japón se remontan al siglo XVI con la llegada de San Francisco Javier. En 1613 salió de Japón la Embajada Keicho y llegó a España en 1614, y ya se celebró el 400 aniversario de las relaciones entre España y Japón.

En 1868 se firmó el primer Tratado de amistad, comercio y navegación, siendo este año el 150 aniversario. Entonces... continuemos las relaciones hispano-japonesas estudiando español en NIFA.

外国語講座 気になるレッスン ～ぜひ見学を～

「韓国語初級」(講師:金 淑花さん)

私は、NHK「冬のソナタ」ですっかりペ・ヨンジュン(ヨン様)のファンになり、ハングルに興味を持ちました。2010年「広報ながれやま」にハングル初級の募集広告が載り、その時から始めて今に至ります。

授業では現在中級の教科書を使っています。会話を練習してその後、教科書に沿って進めています。その時々で韓国話の話題もあり、多様な授業です。とてもアットホームです。

去年は教室を出て、京都の高麗美術館に行ったりしました。語学は、その国の歴史、文化、経済等を理解する助けとなります。ドラマを見たときにも、その背景となる様々の事がわかり、意味深くなります。外国語で他の国の人と話すことは世界を広げます。(S.Sさん記)



☆「英会話サロン」(講師:クロディア・オンヌさん)

「英語で気軽に話したい。」「講座で学んだ表現を試してみたい。」といった初級の皆様のリクエストを受け、1月から「英会話サロン」を始めました。毎週木曜日の午後、市民活動推進センターの一室がサロンになります。宿題やテキストもなく、その時の生活に密着したトピックをそれぞれが自由に提供し、その話題で賑やかに会話を進めます。1月は正月の過ごし方、帰省やどこかへ出かけた時の話題などで盛り上がりました。1回90分、2クラスで行っており、いつも4,5人が参加しています。インストラクターはクロディア・オンヌさん。米国出身でフランスの女性です。言い方に詰まったとき、会話が途切れそうになったときには助け船、また優しい笑顔がサロンの空気を和ませてくれます。ご都合に合わせて、

いつでも参加できますがメンバーは登録制ですので先ずは問い合わせ下さい。(サポートセンター04-7128-6007 佐藤閑子)



☆「RM 英会話基礎2」(講師:リチャード・マンさん)

月に2回(第2、第4火曜日)、イギリス出身の講師の授業を楽しんでいます。テーマは「身の回りのことを英語で話そう!」。そして all English です。3,4人のグループをつくり、その中でその日のテーマの文型を使って会話の練習をします。リスニングで言葉の穴埋めや内容についての Q&A もあり、総合的な実力が身につく授業です。“かつて海外で生活していた”、“家族に海外移住者がいる”、“海外旅行を楽しみたい”、“2年後のオリンピックでボランティアをしたい”など学ぶ動機、きっかけは様々。授業はライティングの宿題もあり少々ハードですが、マンさんの絶えないユーモアとスピードで90分はすぐに終わりです。



「中国語入門」(講師:樊 秋菊さん)

『勉強は楽しい』、『言葉は使えなければ役に立たない』、『授業で学んだことは一つでも身につけて欲しい』、これらが樊秋菊(ハンシュウギク)先生のモットー。授業では、新しく学ぶ言葉を先生について何度も口を動かし(この日は10回)、書き取り、知っている歌に乗せて練習します。今日は年明け最初の授業、「新年好」(shinnen hao) “新年おめでとう!” “を習いました。なんとこの言葉を入れたフレーズを雪山賛歌のメロディに乗せて何度も歌いました。

「友人の知人に中国の方がいる」、「昔の中国の映画に興味を持った」、「〇〇才の手習い、漢字を忘れないよう」、「お子さんが中国の方と結婚した」など皆様それぞれの動機、目的をもって受講されています。樊先生の小気味よいテンポ、親切でわかりやすい授業に皆さん引き込まれます。「中国語は

難しそう」という固定観念は僅か30分の見学で消えました。正に「百聞不如一見」です。

(2018年1月西山記)



マリアンジェルス浅野さんからのメッセージ (3ページの日本語訳)

スペインと日本との交流は16世紀にサンフランシスコ・ザビエルが日本に来た時から始まりました。

1613年には慶長遣欧使節が日本を出発し、1614年にスペインに到着。(先般)日本スペイン交流400周年を祝いました。

1868年(明治元年)には日本スペイン友好通商航海条約が調印され、今年は外交関係樹立150周年を迎えます

それでは…日本とスペインの交流は、NIFA でスペイン語の勉強をしながら続けていきましょう。

甘酸っぱさはベトナムの味わい

国際交流サロン～ベトナム料理教室～2017.12.9

食は異文化交流の魅力あるテーマ。最近では日本でも人気が高く、中国やフランス文化の影響を受けているとされるベトナム料理に挑戦しました。講師はチャン・ティ・トゥエット・ガンさん、日本語講座で学んでいるベトナムの方です。

メニューはバインセオ (Bánh xèo) (ベトナム風お好み焼き) とカインチュア (Canh chua) (ベトナム南部の甘酸っぱいスープ) の二品。



米粉、ターメリック、スックナム (魚醤)、ココナッツミルクやパイナップルなど使ったベトナムの家庭料理ですが、参加した14名の方は誰もベトナムの味を経験したことがなく、皆ガンさんに味見してもらいました。中央公民館の調理室は、若い講師と親世代の多い生徒でベトナム談義に花が咲き、和やかな異文化交流を楽しみました。

「やさしい」は「易しい」から相手に対して「優しい」に

「やさしい日本語」セミナー 2018.1.20 (土) 生涯学習センター

例えば「土足厳禁」、「高台に避難する」などの張り紙や注意を見た時、読めない人はどうするでしょうか？その場で立ちすくむかもしれません。自治体などの身近な文書、街の標識、鉄道の案内など私たちの身の回りに溢れている日本語は、読む人にとって解り易く書かれているのでしょうか？特に子供や外国の方にとって。そのような問題意識からセミナーを開催しました。副題は「日本語でみんなとなかよく」、です。

最近では流山にも外国の方が多く生活されており、日々の暮らしで困りごとがあるのは想像できます。その時、私たちが相手の方の言語で意思疎通できればよいのですが、それには限度があります。また相手の外国の方も少しは日本語を理解しているかもしれません。みんながやさしい日本語で伝えることができればその方が、ずっと暮らしやすくなります。

ではその方たちがわかるような日本語で伝えるにはどうしたらよいか、それがテーマです。

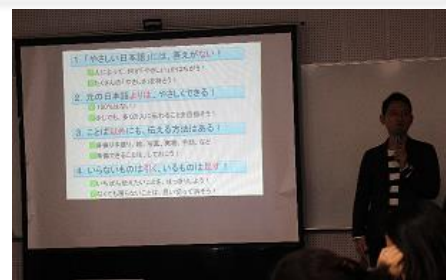
『緊急速報/避難準備情報 (内水氾濫) /〇〇市災害対策本部です。/04日17時10分内水氾濫に伴う、避難準備情報を発表しました。/〇該当地域 (対象学区) /〇〇市全域/避難の準備をしてください。/〇〇市』。この情報がスマホや携帯に送られてきた時、外国の方が自分で逃げる準備ができるでしょうか？セミナーではこのような事例を取り上げながら、「やさしい日本語」ってどのような内容？またどのようなやり方がある？など学びました。

講師は、NPO 法人多文化共生リソースセンター東海代表理事の土井佳彦先生。沢山の事例、豊富な経験に基づく講義に40名を超える参加の皆様は納得顔、でも後半の演習で実際に「やさしい日本語」にする練習をした時には結構汗をかきました。

或る機関が易しい日本語を活用している自治体、団体を調査したところ、流山市は入っていませんでした (2016年11月現在)。NIFAの出番です。

「やさしい日本語」にするための規則 (抜粋)

1. 難しい言葉を避け、簡単な語を使おう。
2. 文章は短くし、文の構造を簡単にしよう。文は“分かち書き”にすると、ことばのまとまりを認識しやすくなります。
3. 使う漢字やその量には注意しよう。漢字にはルビをふろう。
4. 災害時によく使われることば、知っておいた方がよいと思われることばはそのまま使おう。
5. カタカナ、外来語はなるべく使わない。ローマ字は使わないこと。
6. あいまい表現、二重否定の表現は避けよう。



理事会開催案内

- ◆ 日時：平成30年4月7日 (土)
午前10時00分から
- ◆ 場所：市民活動推進センター会議室
- ◆ 議案：第7回通常総会開催及び付議事項決定の件

第7回通常総会開催案内

- 日時：平成30年4月21日 (土) 午前10時00分から
- 場所：流山市中央公民館第2会議室
- 議案：定款変更の件 / 平成29年度事業、決算各報告 / 平成30年度事業計画、予算決定の件

※なお議案の詳細は、後日配布されます議案書を参照してください。

★★★ イベントファイル ★★★



🍀 「第26回あびこ国際交流まつり」

～主催：我孫子市国際交流協会～

2017年11月26日、あびこ市民プラザにて開催され、中橋事務局長、佐藤閑子事務局員が出席しました。

ダンス・演奏、着物の着付け・生け花・お茶席の体験、日本語・外国語講座の発表、キッズコーナー、軽食・各種展示・民芸品販売など多彩なプログラムで、市民、外国の方、会員の交流を深める恒例のイベントです。大勢の来場者で賑わっていました。

🍀 東葛地区国際交流協会連絡協議会

2017年12月8日パレット柏にて行われ、小宮会長、小谷副会長、中橋事務局長が出席しました。

我孫子、柏、野田、流山各市の国際交流協会が課題や取り組み事例について情報、意見交換を行う会合です。それぞれの事情の中での取り組みや運営方法の情報は参考になります。

🍀 「流山おおたかの森防災フェア2017」

～主催：流山新市街地地区安心・安全まちづくり協議会

西初石6丁目自治会・東初石6・6丁目自治会～

2017年12月2日、おおたかの森駅周辺にて「流山おおたかの森防災フェア2017」が開催されました。市内に増えつつある外国の方の参加を期待し、NIFAに参加を呼びかけられ、小宮会長、金淑花さん（外国語支援事業部）、李明勲さん（文化交流事業部、広報部）の3名が参加しました。

防災や避難訓練、災害伝言ダイヤルの活用法、ヘルプカードの紹介、ミニミニ放送局の実況などの他、各種体験イベントなど盛りだくさんの内容で、三人はAEDの使い方を体験したり、乳幼児の避難施設を見学しました。

🍀 日本語講座事業部「お楽しみ会」

2017年12月13日（水）中央公民館にて日本語講座事業部のお楽しみ会を行いました。餃子、モレ、ジンジャークッキー、ナムギョ、リークアンドポテトスープ、ちらし寿司、おはぎ等、腕自慢の料理を持ち寄ったポトラックパーティーです。

受講生13名（他に子供4名）、講師10名が参加し、谷田先生のハーモニカ伴奏でクリスマスソングを歌ったり、ビンゴゲームなどで盛り上がりました。また、講座を一度も休まず受講したジョエル チャドレイさん（英国）に皆勤賞が手渡されました。

短い時間の中でも、日頃触れ合うことの少ない生徒さんたちも交流を深め、日本語、母国語での会話も行き交い、笑いの絶えない催しでした。

🍀 「国際交流会」

2018年2月2日（金）流山小学校の3年生を対象とした授業（同校の恒例となっている授業）が開催されました。NIFAが同校から依頼を受け、外国の方が直接自国の紹介を行います。

3年生の総合的な学習『世界を知ろう』の授業で、NIFAから、ジョエル・チャドレイさん（イギリス）、ニフュス・ヨスさん（オランダ）、施恩さん（中国）、サブコタ・ラジュさん（ネパール）の4人の方をお連れしました。それぞれ自国の地理的環境、食べ物、暮らしぶり、言葉などを紹介。クイズやQ&Aなど各講師の工夫で楽しい授業となりました。子供達の目の輝きを見ると、「世界の人との触れ合いを通してその国や文化に興味を持ち、仲良くしていこうとする気持ちを育てたい」とする主旨の一助になったようです。



🍀 「日韓交流 2018 in 流山親善コンサート」

～主催：日韓交流 rainbow<後援：NIFA、他>～

流山市生涯学習センター（エルズ）にて

2018年2月3日、日本では季節の変わり目に邪気を払う習慣のある節分の日、ここ流山市では韓国の伝統文化の香り漂うイベントが開催されました。韓国伝統芸術団による「日韓交流親善コンサート」です。

伝統楽器による演奏とソウルソリパン（演劇）の2部構成で、独特な形状をした楽器を巧みに演奏する楽器団、色とりどりの華やかな民族衣装を纏（まと）い民謡を歌う歌唱団。目を瞑（つぶ）って聞いてみれば、まるで王朝時代の韓国が目に浮かぶような、時空を超えたとても素晴らしい演奏でした。



編集後記：今号もお知らせが沢山あり、紙面が窮屈になってしまいました。今回は、伊藤恵佑さん（取材）、湯浅志保さん（編集）にも参加頂きました。

広報部長：小谷良美 部員：西山勝、李明勲、谷口宏美